

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 28 日作成)

委員会名	調査・診断小委員会	主 査 名：近藤 照夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(耐久保全運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2002 年 4 月～2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築物の調査、劣化診断、修繕に係わる最新の技術内容を収集・整理し、1993 年 1 月に刊行された「建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説」の改定版を作成する。	
委員構成 (委員名(所属))	近藤照夫(ものづくり大学)本橋健司(建築研究所)井上照郷(日本建築仕上材工業会) 榎木堯(ベターリビング)武藤(国土交通省総合研究所)林(都市基盤整備公団) 朝倉(国土交通省官庁営繕部)佐藤(佐藤建築事務所)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2003 年度予算	160,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	03.5.8(4名) 6.9(4名) 8.6(7名) 10.1(6名) 12.12(5名) 04.2.6(6名) 3.12(4名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 調査・診断・補修・改修に関する技術資料や最新情報を収集して、「建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説」の改定版として、仮称「建築物の調査・劣化診断指針(案)・同解説」目次案を検討している。特に、ストックマネジメント総プロの成果に着目したり、目的に応じた調査・診断として一般修繕、増・改築、環境配慮(グリーン)改修、用途転用改修(コンバージョン)などを取上げるべく検討している。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 研究機関の2年度までは、関連する最新資料の収集と改定案の検討であり、当初の活動計画に沿って研究活動を進めている。
その他評価すべき事項	今年度は、委員会メンバーとして国土交通省素官庁営繕部、総合研究所、都市基盤整備公団およびNTTファシリティーズOBの方々を迎え、活動が充実した。